

山名	飯豊連峰縦走		山行名	個人山行		
山行日	2023年7月26日(水)～30(日)		天候	5日とも晴れ		
参加者	CL:平尾 SL:土岐、西川洋					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	川入	着	14:45	烏帽子岳	着	13:55
		発	5:00		発	14:05
	御沢野営場	着	8:58	梅花皮岳	着	14:33
		発	9:00		発	14:33
	横峰小屋跡	着	9:30	梅花皮避難小屋	着	15:00
		発	9:35		発	5:55
	地藏山分岐	着	9:30	北股岳	着	6:25
		発	9:30		発	6:25
	三国岳・避難小屋	着	11:00	門内岳	着	7:33
		発	11:40		発	7:45
	切合避難小屋	着	14:40	梶川峰	着	8:55
		発	5:50		発	9:00
本山避難小屋	着	8:00	湯沢峰	着	11:41	
	発	8:10		発	12:00	
飯豊山	着	8:30	飯豊山荘前	着	13:30	
	発	8:35		発	14:30	
御西避難小屋	着	10:15	川入	着	16:00	
	発	10:55		発	7:00	
<p>梅雨明け後の好天が続き、3日間とも雨に会うことも雷を気にすることもなく縦走ができた。多くの花、高山植物に出会えた花の山旅だった。1日目：御沢野営場まで民宿の車で送ってもらい登山口に立つ。下・中・上十五里のブナ林の長い坂を上る。約800mの標高差、暑くて汗が吹き出し何度もタオルを絞った。横峰小屋跡の先の地藏水場の登山道脇の崖からの冷たい水で喉を潤した。地藏山の分岐を過ぎ、剣ヶ峰の岩場が始まり鎖場もある。三国岳、三国避難小屋につく。360度の大展望で左先に最高峰大日岳、北には飯豊本山手前の本山小屋、稜線を左に御西岳下に雪田が2つ3つ見える。小屋の管理人の話では、飯豊山下の斜面にも例年8月の盆頃まで残っていた雪田4ヶ所が今年は消えているという。猛暑に気候変動の影響を実感する。食事をし先を急ぐ。種蒔山を越えると前方が開け切合小屋が見えてくる。連峰内避難小屋で唯一食事を提供する小屋で荷を軽くでき体力を回復する。水場も小屋前にあった。この日は十数人の泊だった。2日目：早朝は風があり暑さがしのげた。本山小屋の手前で、この山行の目当ての一つだった飯豊山の固有種イデリンドウに出会う。神社から待望の稜線歩き、20分ほどで飯豊本山。両脇には高山植物が次々と現れる。雪渓とお花畑、山上の絶景を楽しみながら御西岳、御西小屋分岐へ向かう。大日岳が目前に聳えるが、往復3時間40分かかるので今回はパス。御西小屋の前で弁当を広げる。ここから北西に伸びる稜線を歩く。非対称山稜の右側には次々に雪田が残る。2、3ヶ所雪田を慎重に渡る。向うから来た人から雪田上をクマが歩いていたとの情報。何ヶ所かクマの糞が登山道上にもあった。烏帽子岳と梅花皮岳を越え、北股岳との鞍部に梅花皮小屋が見えた。小屋から30m程のところに治二清水の水場があった。水量が豊富だった。3日目：深夜から早朝は風が強く小屋前のテントは激しく煽られていた。山頂に祠のある門内岳と、胎内山を登り降り、梶川峰の分岐に出る。キンコウカの大群落が雄大な飯豊山塊を背景に見られ感激。右手に石転ビ沢雪渓が見える。これまで歩いてきた道のりが一望できアルプスに匹敵する大展望を楽しむ。梶川峰をすぎ、急な下りの先にある五郎清水で水を補給る。</p>						

岩の急坂を下り、梅花皮大滝の展望所、ブナの巨樹を見て湯川峰で休憩。ここから尾根筋の約1時間40分の急な下り。岩や石に引っかからないよう慎重に下り予定より早く飯豊山荘前につく。飯豊山荘は休業中で日帰り入浴のみをやっていた。タクシーをまち、川入に戻る。村杉荘で労をねぎらい乾杯。地酒を1杯サービスしてもらい女将からいろいろ話を聞く。今年で民宿をやめようかという話に寂しさを感じた。

ヤマップ (3日間合計) 距離 28.1 km、累積標高上り 2,620m、下り 2,742m

ヒヤリハット なし



ブナ林



剣ヶ峰



切合小屋からの朝日



残雪にお花畑



梅花皮小屋から夕照大日岳



烏帽子岳へ向かう稜線



飯豊山山頂



雪田を歩く

飯豊連峰縦走 感想

土岐

飯豊連峰、この時期は雨が多いと聞きますが天気にも恵まれましたが東北なのに気温が 38 度、関西と変わらず暑いなかでしたが飲料水には困らないのは助かります。冷たく美味しい湧き水を飲みながらの山行です。汗を沢山かきながら山の稜線に着くと下界と 10 度も違いそして驚いたのはアルプスと遜色のない景色、登山道を進むと飯豊の固有種の花など関西では見られないお花畑のパノラマがずっと続くのです。標高といい、こんな山が関西にあればと思いました。宿泊は避難小屋でしたがトイレは水洗で匂いもなく快適でしたが今年は熊が多いそうで避難小屋から 1 キロ先？に夕方、餌をたべている熊を見かけました。心残りは大日岳に行けなかったのが残念でした。H さん、N さん、長旅、お疲れ様でした。



イデリンドウ (飯豊山固有種)



ハクサンフクロ



タカネマツムシソウ



ハクサンコザクラ



ハクサンシャクナゲ



チシマギキョウ



シラネアオイ



ヨツバシオガマ



タカネナデシコ



ミヤマシャジン



クルマユリ



ウサギギク



キンコウカ



ミヤマウスユキソウ



コバイケイソウ



ミヤマカラマツ



タケシマラン



マイヅルソウ



アカモノ



シナノキンバイ



ミヤマキンポウゲ



ニッコウキスゲ



マルバコゴメグサ



イワイチョウ

☆その他出会った花

イブキトラノオ、ハクサンイチゲ、チングルマ、ゴゼンタチバナ、センジュガンピ、シロバナハナニガナ、シロバナヘビイチゴ、コイワカガミ、トモエシオガマ、タテヤマウツボグサ、ミヤマクルマバナ、オヤマノエンドウ、エゾアジサイ、カンチコウゾリナ、ハクサンオミナエシ、イワオトギリ、ヨツバヒヨドリ、トウゲブキ、コバギボウシ、モミジカラマツ他